

冬季における沖曳網でのホンモロコ漁獲物調査

根本 守仁

1. 目的

ホンモロコの資源管理を推進していくための基礎資料とするため、産卵直前の冬季に、主要な漁法である沖曳網での漁獲物について体長等を調査し、過年度の結果と比較した。

2. 方法

調査は、平成 28 年 1 月 21 日～2 月 23 日に、琵琶湖北湖の沖合で沖曳網により漁獲されたホンモロコ 5,681 尾を対象に実施した。標本は、冷凍保存とし、解凍後に体長等を計測し、その後、開腹して、生殖腺を肉眼で観察することにより性の判別を行った。年齢査定は、鱗の輪紋の乱れを観察することにより行った。

3. 結果

今回調査した標本の年齢構成は、0 歳魚が 90.1%、1 歳魚が 9.5%、2 歳魚が 0.4%、3 歳魚が 0.0%であった。過年度の結果も含めて図 1 に示した。調査尾数が少なかった平成 14 年度を除いたすべての年度で 0 歳魚が全体の 90%以上を占めており、本年度も同様な傾向であった。

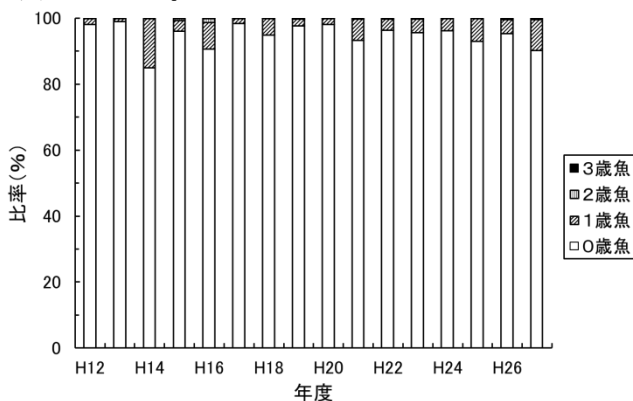


図 1 冬季に沖曳網で漁獲されたホンモロコの年齢構成

性比について、雌の割合は、0 歳魚では 51.5%、1 歳魚では 72.0%であった。過年度

の結果も含めて図 2 に示した。どの年度においても、0 歳魚では雌雄比がほぼ 1:1 であり、1 歳以上魚では雌の割合が高いという傾向がみられた。

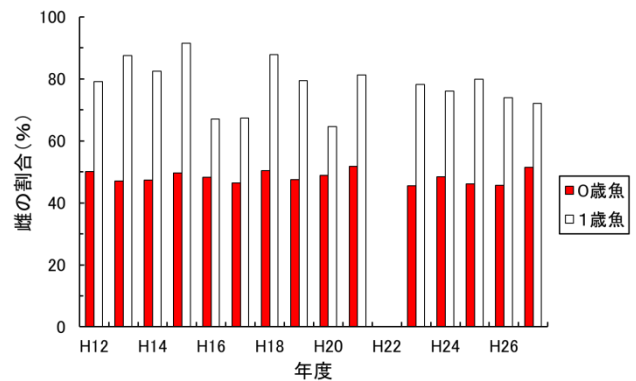


図 2 冬季に沖曳網で漁獲されたホンモロコの性比

体長について、0 歳魚では 78.62 ± 7.22 (平均±標準偏差)mm、1 歳魚では 99.70 ± 6.03 mm、2 歳魚では 110.41 ± 5.19 mm であった。0 歳魚について過年度の結果も含めて図 3 に示した。平成 24 年度のみ 72.47 ± 6.88 mm と小型であったが、ほとんどの年度で概ね 80mm であり、本年度も同様であった。

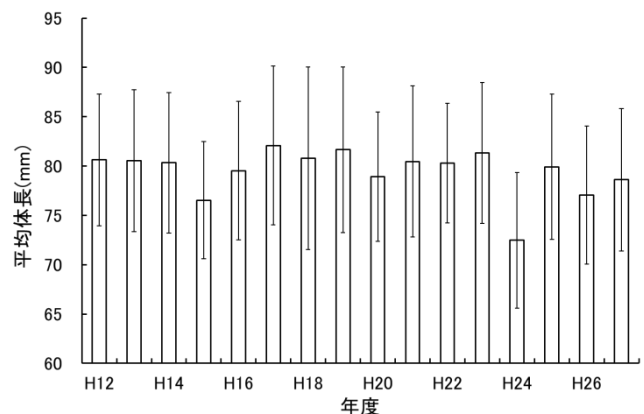


図 3 冬季に沖曳網で漁獲されたホンモロコ 0 歳魚の体長